

2006年6月  
第2回定例  
市議会報告

# 家庭ごみ有料化 今年度実施を断念させる

日本共産党札幌市議会議員団

## 敬老カードの

## 上限額見直しの検討を約束

### 日本共産党の代表質問への答弁

札幌市議会第二回定例会で、六月七日、小形かおり議員（中央区）が代表質問を行いました。敬老カードの改善や家庭ごみ有料化問題などを取り上げ、市民の願いにこたえるよう追及しました。

この議会では、耐震偽装関連補正予算が出され、党も要望していたマンション管理組合が行う構造計算書の調査への補助などが実現しました。

家庭ごみ有料化問題  
市民の声を尊重して  
中止を表明すべき

札幌市の家庭ごみ「年度内有料化見送り」も道新「六月八日付」などと、マスコミ各紙が、小形かおり議員の代表質問と市長答弁を大きく報道しました。

札幌市は「財政構造改革プラン」で、今年十月から家庭ごみ有料化を計画していました。

しかし、市民の批判も強く、共産党が一貫して反対していました。

「今年度中に実施することがあるのか」とたまたした小形議員に対し、上田文雄市長は「市民議論を

重視して審議されてきた。時間的な制約もあり、今年度の有料化実施は、相当に厳しい」とのべ、事実上今年度の実施を断念したことを明らかにしました。



札幌ごみ問題を考えるつどい(2006年1月29日、党市議団主催)



代表質問に立つ小形かおり議員

敬老カード  
「五万円分では足りない」

上田市長は、敬老カード上限額五万円の見直しを検討することも明らかにしました。札幌市のアンケート調査でも五万円を購入した八五%の人が「かなり足りない」「少し足りない」と答えています。

小形議員は「高齢者の声にこたえて利用上限額の増額や撤廃を考へるべきだ」と迫りました。

答弁に立った小澤正明副市長は「五万円では足りないという声があることは承知している。市民意見を十分踏まえ、利用実態も調査・検証して検討したい」とこたえました。

雪だるま式負担増  
市民から苦情・相談が殺到  
住民税 国保・介護保険料

六月に届いた住民税、国保料等の納付書を見て、「なぜこんなに上がるのか」と区役所に市民から相談・苦情が殺到しました。

市民税 国保・介護保険料の値上げに反対  
共産党市議団

共産党市議団は、市民に負担増をおしつける市税条例、所得が比較的低い世帯に値上げが集中する国保料、基準額で十一%、最高では八五%もの値上げになる人が生まれる介護保険料値上げにそれぞれ反対しました。

自民党・公明党の小泉内閣  
が実施した税制改悪で

大増税、負担増の原因は、老年者控除の廃止と公的年金等控除の縮小、定率減税の半減などが、住民税に適用されたからです。さらに、住民税を基礎に計算する介護保険料が連動して値上げになりました。この大増税を推進したのは自民党、公明党が与党の小泉内閣です。